# ことばのおたより

一般財団法人　三宅医学研究所
てふてふ

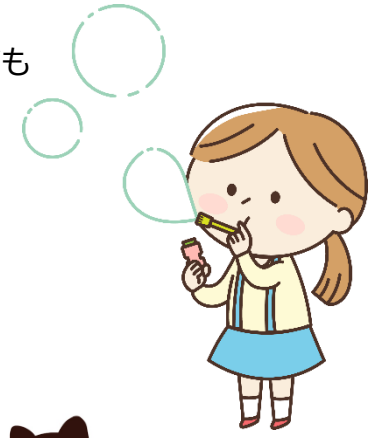
令和5年 10 月

日中の暑さも落ち着き、心地よい風を感じる季節になりました。
外遊びが気持ちいい10月、ことばの教室も屋外で開催しようと思います。
泡遊びをした8月のことばの教室では、手のひらに乗った泡にそーっと息を吹きかけ、泡をとばそうとしている子がいました。今月はシャボン玉で遊びます。

シャボン玉を割るためにしゃがんだり、ジャンプしたり、つま先立ちで両手を伸ばしたりする運動は、バランス感覚や体幹の筋力を育ててくれます。どうやったらたくさんシャボン玉が出るかな？どうやったら大きなシャボン玉が作れるかな？など、子どもの不思議に思う気持ちや、工夫する力もサポートしていきます。

言葉を話すには、唇や舌、あごの筋力や細かい運動と、音の違いをはっきりさせるための微妙な息遣いのコントロールが必要です。

シャボン玉では息の長さや強さを目で確認できるので、遊びながら、強く息を出す、弱く息を出す、長く息を出す、短く息を出すなどの練習ができます。また、ストローで息を吐くには、上下の唇をしっかりとくっつけて口を閉じる力や、舌でストローを固定する力が必要です。

自分で吹くよりも追いかけたり、割ったりする方が楽しい子も、「もう1回」「もっといっぱい」など伝えたいことが増え、親子でやりとりを楽しめると思います。

シャボン玉以外にも、吹き戻しや風車、ストローで水をブクブクと吹く遊びも楽しみながらお口の運動をすることができます。楽しい時間を共有し、声を出してたくさん笑うことも言葉や情緒の発達に効果的です。いろいろなお口を使った遊びを楽しんでくださいね。